

# Oracle Enterprise Manager

Oracle Standard Management Pack インストレーション・ガイド

リリース 2.2

2000 年 11 月

部品番号 : J02274-01

ORACLE®

---

Oracle Standard Management Pack インストール・ガイド リリース 2.2

部品番号 : J02274-01

原本名 : Oracle Standard Management Pack Installation, Release 2.2 for Windows NT, Windows 95, and Windows 98

原本部品番号 : A85220-01

原本協力者 : Jacqueline Gosselin, Leo Cloutier, Cheryl Mrozienski, and Brenda Scott

Copyright © 1999, 2000, Oracle Corporation. All rights reserved.

Printed in Japan.

制限付権利の説明

プログラム（ソフトウェアおよびドキュメントを含む）の使用、複製または開示は、オラクル社との契約に記された制約条件に従うものとします。著作権、特許権およびその他の知的財産権に関する法律により保護されています。

当プログラムのリバース・エンジニアリング等は禁止されています。

このドキュメントの情報は、予告なしに変更されることがあります。オラクル社は本ドキュメントの無謬性を保証しません。

\* オラクル社とは、Oracle Corporation（米国オラクル）または日本オラクル株式会社（日本オラクル）を指します。

危険な用途への使用について

オラクル社製品は、原子力、航空産業、大量輸送、医療あるいはその他の危険が伴うアプリケーションを用途として開発されておりません。オラクル社製品を上述のようなアプリケーションに使用することについての安全確保は、顧客各位の責任と費用により行ってください。万一かかる用途での使用によりクレームや損害が発生いたしましても、日本オラクル株式会社と開発元である Oracle Corporation（米国オラクル）およびその関連会社は一切責任を負いかねます。当プログラムを米国国防総省の米国政府機関に提供する際には、『Restricted Rights』と共に提供してください。この場合次の Notice が適用されます。

#### Restricted Rights Notice

Programs delivered subject to the DOD FAR Supplement are "commercial computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs, including documentation, shall be subject to the licensing restrictions set forth in the applicable Oracle license agreement. Otherwise, Programs delivered subject to the Federal Acquisition Regulations are "restricted computer software" and use, duplication, and disclosure of the Programs shall be subject to the restrictions in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software - Restricted Rights (June, 1987). Oracle Corporation, 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このドキュメントに記載されているその他の会社名および製品名は、あくまでその製品および会社を識別する目的にのみ使用されており、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

---

---

# 目次

はじめに .....	iii
<b>1 開始前の準備</b>	
Oracle Enterprise Manager の 3 層フレームワーク .....	1-1
ハードウェア要件とソフトウェア要件 .....	1-3
その他の要件 .....	1-3
インストール可能なコンポーネント .....	1-4
<b>2 Oracle Standard Management Pack のインストール</b>	
Oracle Universal Installer とは .....	2-1
Oracle Universal Installer へようこそ .....	2-2
インストール場所の指定 .....	2-2
インストールするトップ・レベル・コンポーネントの選択 .....	2-3
Oracle Management Server リポジトリの選択 .....	2-4
インストール・サマリーの表示 .....	2-5
インストール後の構成 .....	2-5
<b>3 Oracle Standard Management Pack の削除</b>	
Oracle Universal Installer によるコンポーネントの削除 .....	3-1



---

---

# はじめに

このマニュアルでは、Oracle Standard Management Pack のインストールについて説明します。

このマニュアルでは、次の項目について説明します。

- [Oracle Enterprise Manager の 3 層フレームワーク](#)
- [ハードウェア要件とソフトウェア要件](#)
- [インストール可能なコンポーネント](#)
- [Oracle Standard Management Pack のインストール](#)
- [Oracle Standard Management Pack の削除](#)

---

---

**重要：** インストールを開始する前に、『Oracle Standard Management Pack 日本語リリース・ノート』を参照してください。

---

---

# 関連資料

Standard Management Pack のインストール完了後、『Oracle Standard Management Pack スタート・ガイド』に記載されているインストール後の構成情報を参照してください。

次の表に、Oracle Enterprise Manager および Standard Management Pack に関して、現在入手可能なドキュメントを示します。

必要な情報	参照先
Oracle Enterprise Manager コンソール	Oracle Enterprise Manager ドキュメント・セット
	『Oracle Enterprise Manager 日本語リリース・ノート』
	『Oracle Enterprise Manager 管理者ガイド』
	『Oracle Enterprise Manager メッセージ・マニュアル』
	『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』
	『Oracle Enterprise Manager 概説』
Oracle Standard Management Pack	『Oracle Intelligent Agent ユーザーズ・ガイド』
	Oracle Standard Management Pack ドキュメント・セット
	『Oracle Standard Management Pack 日本語リリース・ノート』
	『Oracle Standard Management Pack スタート・ガイド』

---

## 開始前の準備

Oracle Standard Management Pack（以後、“Standard Management Pack”と表記）のインストールを開始する前には必ず、この章をよく読んでください。Oracle Enterprise Manager の3層アーキテクチャの基本概念、ハードウェアとソフトウェアの要件およびインストールできるコンポーネントに関する情報が得られます。

---

**重要：** Standard Management Pack は、Oracle Server Edition のコンポーネントで別途ライセンスが必要です。Standard Management Pack のインストールは必ず、オラクル社からライセンスを入手してから行ってください。ライセンスの入手の詳細は、貴社担当の販売員にお問い合わせになるか、またはオンラインの Oracle Store (<http://oraclestore.oracle.com>) にアクセスしてください。

---

---

**警告：** Standard Management Pack は、他の Enterprise Manager Pack をインストールしたシステムにはインストールしないでください。

---

## Oracle Enterprise Manager の3層フレームワーク

Oracle Enterprise Manager のアーキテクチャは、3層フレームワークで構成されています。2層のクライアントサーバー構造とは異なり、3層アーキテクチャはエンタープライズ環境に対し、信頼性、拡張性および耐障害性を提供します。Oracle Enterprise Manager は、次の3つの層で構成されています。

### ■ コンソールおよび管理アプリケーション： 第 1 層

第 1 層では、次のグラフィカル・ユーザー・インタフェース（GUI）管理アプリケーションを提供します。

- コンソール（GUI ベースの管理アプリケーション）
- すべての管理タスク用の管理ツール
- Oracle Management Pack アプリケーション

### ■ Oracle Management Server: 第 2 層

第 2 層は、コンソールから送られたシステム管理タスクを処理します。この層は、コンソール（第 1 層）と管理対象ノード（第 3 層）に一元的なインテリジェンス機能と分散制御機能を提供します。第 2 層は、次のもので構成されています。

- 1 つ以上の Oracle Management Server
- システム・データ、アプリケーション・データ、管理対象ノードの状態に関する情報、およびすべての System Management Pack に関する情報を格納するリポジトリ

---

**注意：** 中間層に複数の Oracle Management Server をインストールする場合でも、必要なリポジトリは 1 つです。Management Server は、信頼性および耐障害性を提供するため、1 つのリポジトリの情報を共有します。

---

### ■ データベースおよび他のサービスを含む管理対象ノード： 第 3 層

管理対象ノードは、管理するデータベースまたは他のサービスで構成される、ネットワーク上の任意のマシンです。管理対象ノードは次の 3 つで構成されます。

- データベース
- コンカレント・マネージャ
- リスナー

Intelligent Agent および Data Gatherer は、管理対象ノードで実行されるプロセスであり、データベース、リスナー、Forms サーバー、コンカレント・マネージャなどのサービスのリモート管理を可能にします。

3 層アーキテクチャには柔軟性があり、各層を同じマシンあるいは異なるマシンにインストールできます。また、環境に最も適した配置オプションも可能です。ただし、Oracle Management Server（中間層）は安定したノードにインストールすることが重要です。

Oracle Enterprise Manager の 3 層フレームワークの詳細は、『Oracle Enterprise Manager 概説』を参照してください。



## ハードウェア要件とソフトウェア要件

Oracle Enterprise Manager および Standard Management Pack のインストールを開始する前に、ハードウェア要件とソフトウェア要件の表を参照してください。

**表 1-1 Standard Management Pack および Oracle Enterprise Manager のシステム要件**

要件	Standard Management Pack および Enterprise Manager	Standard Management Pack, Enterprise Manager および Management Server <sup>1</sup>
オペレーティング・システム	Windows NT 4.0、 Windows 95、Windows 98	Windows NT 4.0、Windows 95、 Windows 98
Windows NT 4.0 Service Pack	Service Pack 4.0 以上	Service Pack 4.0 以上
推奨プロセッサ	Pentium 266 または SPARC 20	Pentium II 400 または SPARC Ultra 1
RAM	64MB	256MB
ハード・ディスク	228MB	190MB (NTFS) <sup>2</sup>

<sup>1</sup> Management Server には、Windows NT 4.0 が必須です。Web ブラウザからの Enterprise Manager コンソール実行には、128MB の RAM が必要です。Web サイトおよび Oracle Apache HTTP サーバーの実行には、102MB 必要です。

<sup>2</sup> FAT では、NTFS の 4 倍のディスク領域を消費します。190MB には、リポジトリの構成に必要な 6 ～ 26MB が含まれます。

**注意：** 前述の要件は、Oracle Enterprise Manager のデータベース・リポジトリがすでに存在することを前提としています。データベースがインストールされていない場合は、インストールする必要があります。Oracle データベースの推奨システムおよびハードウェア要件は、使用するデータベース用のインストール・ガイドを参照してください。

## その他の要件

- Oracle Enterprise Manager コンソール用の Web ブラウザ（オプション）  
Microsoft Internet Explorer 4.x または Netscape 4.0.4 以上
- Oracle Enterprise Manager コンソール用の Web サーバー（オプション）  
Oracle Application Server 4.0.7 以上、Xitami 2.3 以上または IIS 4.0

- Java Runtime Environment  
Oracle Enterprise Manager コンソールおよび Standard Management Pack の一部のコンポーネントには、この CD-ROM のインストール時に自動的にインストールされる Java Runtime Environment (JRE) が必要です。

**注意：** この CD-ROM でリリースされる Tools は、この CD-ROM に含まれているバージョンの Java Runtime Environment に対してのみ動作が確認されています。

- プロセス数  
Enterprise Manager Repository を格納するデータベースは、次のいずれかのデータベース設定ファイルで最大プロセス数が少なくとも 200 に設定されている必要があります。  
**Oracle Server リリース 7.3.4 および 8.0 の場合**  
\$Oracle\_Home¥Database¥init<SID>.ora  
**Oracle Server リリース 8.1 の場合**  
\$Oracle\_Home¥Admin¥sid¥pfile¥init.ora  
必要な調整（つまりプロセス数を 200 にする）を行った後、データベースを停止し、再起動します。

## インストール可能なコンポーネント

表 1-2 に、この CD-ROM の主なコンポーネントを示します。インストール可能なコンポーネントの全リストは、製品をインストールするときに表示される「サマリー」画面を参照してください。

インストール時の選択に応じてインストールされるコンポーネントの詳細は、2-3 ページの「インストールするトップ・レベル・コンポーネントの選択」を参照してください。

表 1-2 CD-ROM に収録されている主なコンポーネント

コンポーネント	バージョン
Oracle Enterprise Manager（2つの主要コンポーネントを含む）	2.2.0.0.0
1. Oracle Enterprise Manager Client	2.2.0.0.0
■ Oracle Enterprise Manager コンソール	2.2.0.0.0
■ Oracle DBA Management Pack	2.2.0.0.0
Oracle DBA Studio	2.2.0.0.0

表 1-2 CD-ROM に収録されている主なコンポーネント (続き)

コンポーネント	バージョン
Oracle Instance Manager	2.2.0.0.0
Oracle Schema Manager	2.2.0.0.0
Oracle Security Manager	2.2.0.0.0
Oracle Storage Manager	2.2.0.0.0
SQL*Plus Worksheet	2.2.0.0.0
■ Oracle Enterprise Manager 統合アプリケーション	2.2.0.0.0
Oracle Parallel Server Manager	2.2.0.0.0
Oracle <i>interMedia</i> Text Manager	2.2.0.0.0
Oracle Replication Manager	2.2.0.0.0
Oracle Applications Manager	2.2.0.0.0
Oracle Applications Server Manager	2.2.0.0.0
Oracle Developer Server Forms Manager	2.1.0.0.0
Oracle Spatial Index Advisor	2.2.0.0.0
Oracle Directory Manager	2.1.1.0.0
Oracle Enterprise Security Manager	2.0.0.1.0
■ Oracle Enterprise Manager Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Enterprise Manager Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle DBA Management Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Change Management Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Diagnostics Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
Oracle Tuning Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
Management Pack for Oracle Applications Quick Tour	2.2.0.0.0
Standard Management Pack Quick Tour	2.2.0.0.0
2. Oracle Management Server	2.2.0.0.0
■ Oracle Enterprise Manager Configuration Assistant	2.2.0.0.0
■ Oracle Enterprise Manager Migration Assistant	2.2.0.0.0
Java Runtime Environment	1.1.7.30o
Net8 Client	8.1.7.0.0

表 1-2 CD-ROM に収録されている主なコンポーネント (続き)

コンポーネント	バージョン
■ Net8 Assistant	8.1.7.0.0
■ Net8 Configuration Assistant	8.1.7.0.0
Oracle Universal Installer (OUI)	1.7.0.19.0
Oracle Standard Management <sup>1</sup>	2.2.0.0.0
Oracle TopSessions	2.2.0.0.0
Oracle Index Tuning Wizard (コンソールからのみ使用可能)	2.2.0.0.0
Oracle Change Manager	2.2.0.0.0
Oracle Performance Manager	2.2.0.0.0
Oracle Standard Management Pack ドキュメント (「スタート」メニューからのみ使用可能)	2.2.0.0.0

<sup>1</sup> **重要:** Standard Management Pack は別個に販売されるものであり、個別にライセンスが必要です。

---

# Oracle Standard Management Pack のインストール

この章では、Standard Management Pack と各コンポーネントをインストールする方法の概要を説明します。

ここで説明するトピックは次のとおりです。

- [Oracle Universal Installer とは](#)
- [Oracle Universal Installer へようこそ](#)
- [インストール場所の指定](#)
- [インストールするトップ・レベル・コンポーネントの選択](#)
- [Oracle Management Server リポジトリの選択](#)
- [インストール・サマリーの表示](#)
- [インストール後の構成](#)

## Oracle Universal Installer とは

Oracle Universal Installer は、CD-ROM から Oracle コンポーネントをインストールするための Java ベースのツールです。Oracle Universal Installer は、次の機能を備えています。

- コンポーネントおよびスイートのインストール
- Web ベースのインストール
- 各国語 / グローバリゼーションのサポート
- インストールされているコンポーネントの削除
- 複数の Oracle ホームのサポート

Oracle Universal Installer は本来、特定の情報の入力を求める一連の画面を表示するインストール・ウィザードです。次の項では、Oracle Universal Installer を使用した一般的なインストールを説明します。

---

---

**重要：** Enterprise Manager リリース 2.2 は、各マシンに 1 つのみインストールできます。Enterprise Manager 2.2 をすでにインストール済の場合に、Standard Management Pack などの Management Pack をインストールするには、これを Enterprise Manager 2.2 と同じ Oracle ホームへインストールしてください。また、同じマシン上に Oracle8i Server 8.1.7 の複数のコピーをインストールする場合、Enterprise Manager ツールのコピーを複数インストールする必要はありません。

---

---

## Oracle Universal Installer へようこそ

「ようこそ」画面は、Oracle Universal Installer 開始時に最初に表示される画面です。「ようこそ」画面から、次のことができます。

- 「製品の削除 ...」 ボタンをクリックして、インストール済 Oracle8i 製品を削除
- 「Oracle Universal Installer について ...」 ボタンをクリックして、このリリースの Oracle Universal Installer の詳細情報を入手

すべての「Oracle Universal Installer」画面から次のことができます。

- 「インストール済の製品 ...」 ボタンをクリックして、インストール済 Oracle 製品情報を入手
- 「終了」 ボタンをクリックして、インストール・プロセスを終了
- 「ヘルプ」 ボタンをクリックして、特定の「Oracle Universal Installer」画面のヘルプを表示
- 「戻る」 ボタンをクリックして、前の画面へ移動
- 「次へ」 ボタンをクリックして、次の画面へ移動

## インストール場所の指定

Oracle Universal Installer の「ファイルの場所」画面では、インストール先として使用する Oracle ホームの名前と場所の入力を求められます。既存のシステム設定に基づくいくつかのインストール・オプションがあります。表 2-1 に、一般的なインストール先オプションを示します。

表 2-1 一般的なインストール先オプション

インストールする製品	インストール・オプション
Oracle Enterprise Manager および Standard Management Pack	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 既存のリリース 8.1.7 の Oracle ホームへインストール</li> <li>■ Enterprise Manager リリース 2.2 がインストールされた Oracle ホームが他に存在しない場合、新規 Oracle ホームへインストール</li> </ul>
Standard Management Pack <sup>1</sup>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ Oracle Enterprise Manager リリース 2.2 を含む、既存の 8.1.7 の Oracle ホームへインストール</li> <li>■ Enterprise Manager リリース 2.2 がインストールされた Oracle ホームが他に存在しない場合、新規 Oracle ホームへインストール</li> </ul>

<sup>1</sup> Oracle Enterprise Manager リリース 2.2（ベース・コンソール）は、指定の Oracle ホームに既存のリリース 2.2 が存在しない場合、自動的にインストールされます。

**注意：** 7.x、8.0.x または 8.1.5 以前の Oracle ホームがすでに存在する場合、Oracle Enterprise Manager リリース 2.2 に新規 Oracle ホームを作成する必要があります。Oracle Universal Installer では、サポートされていない Oracle ホームにはインストールできないようになっています。

## インストールするトップ・レベル・コンポーネントの選択

Oracle Universal Installer を使用すると、Oracle Standard Management Pack の CD-ROM に含まれているすべてまたは一部のコンポーネントをインストールできます。「**使用可能な製品**」画面では、次のトップ・レベル・コンポーネント・オプションが提供されます。

- Oracle Standard Management Pack および Management Infrastructure 2.2.0.0.0
- Oracle Standard Management Pack 2.2.0.0.0

1-4 ページの「**インストール可能なコンポーネント**」では、この CD-ROM の主要コンポーネントを示しています。この項では、インストール時の選択に応じてインストールされるコンポーネントを示します。トップレベル・コンポーネント・オプションを使用すると、「**インストール・タイプ**」画面で「標準」と「カスタム」のいずれかのインストールを選択できます。表 2-2 に、トップ・レベル・コンポーネント・オプションおよび対応するインストール・タイプを示します。

表 2-2 トップ・レベル・コンポーネント・オプションおよび対応するインストール・タイプ

トップ・レベル・コンポーネント	インストール・タイプ
Oracle Standard Management Pack および Management Infrastructure 2.2.0.0.0	<p><b>標準<sup>1</sup></b></p> <p>Oracle Standard Management Pack、DBA Management Pack、ネットワーク・サービス、ユーティリティ、Oracle Enterprise Manager、Oracle Management Server および Web サイトがインストールされます。また、Diagnostics Pack、Tuning Pack および Change Management Pack の一部のアプリケーションもインストールされます。</p> <p><b>カスタム</b></p> <p>インストールするコンポーネントを選択できます。</p>
Oracle Standard Management Pack 2.2.0.0.0	<p><b>標準</b></p> <p>Oracle Standard Management Pack、Enterprise Manager コンソール、エンタープライズ管理ツール、ネットワーク・サービス、ユーティリティ、Enterprise Management 基本クライアント・ソフトウェアおよび Standard Management Pack ドキュメントがインストールされます。既存の Oracle Management Server を使用する場合は、このトップ・レベル・コンポーネントを選択してください。</p> <p><b>カスタム</b></p> <p>インストールするコンポーネントを選択できます。</p>

<sup>1</sup> 各 Management Pack に関連するすべてのコンポーネントの詳細は、1-4 ページの「[インストール可能なコンポーネント](#)」を参照してください。

**注意：** Standard Management Pack に含まれるアプリケーションが、他の Enterprise Manager Pack の前回のインストールによりすでにシステム上に存在する場合、Standard Management Pack をインストールしないでください。

## Oracle Management Server リポジトリの選択

インストールするトップ・レベル・コンポーネントとして、Oracle Standard Management Pack および Management Infrastructure 2.2.0.0.0 を選択した場合、Oracle Universal Installer により、Oracle Management Server で既存のリポジトリを使用するか、または新しいリポジトリを作成するかを指定するように求められます。[表 2-3](#) に、各オプションの説明を示します。



表 2-3 リポジトリ・オプション

タイプ	状況
既存のリポジトリ (リリース 2.1)	リリース 2.1 のリポジトリからリリース 2.2 のリポジトリへのアップグレードの詳細は、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。
既存のリポジトリ (リリース 2.1)	別の Oracle Management Server がすでにインストールされ、リポジトリが作成されている状態で、これからインストールする Oracle Management Server を使用して同じコンピュータを管理する場合 (つまり、リポジトリを共有する場合)。
新規のリポジトリ	別の Oracle Management Server またはリポジトリがインストールされていないか、あるいは管理の設定を完全に分ける場合。

**注意：** インストールするトップ・レベル・コンポーネントとして、Oracle Standard Management Pack および Management Infrastructure 2.2.0.0.0 を選択した場合、インストール後に Oracle Enterprise Manager Configuration Assistant が自動的に起動します。詳細は、『Oracle Enterprise Manager 構成ガイド』を参照してください。

## インストール・サマリーの表示

インストール・オプションをすべて設定すると、インストールされるすべての製品のサマリーが表示されます。このサマリーを参照すると、インストールするコンポーネントがすべて含まれているかどうかを確認できます。インストールするコンポーネントがすべてサマリーに含まれていることを確認した後、「インストール」ボタンをクリックしてインストールを開始します。

**注意：** インストールの最後には必ず、Net8 Configuration Assistant が起動します。このウィザードを使用して tnsnames.ora ファイルを構成すると、Oracle Management Server を使用しなくても、直接データベースに接続できます。この時点で tnsnames.ora ファイルの構成を行わない場合、あるいは Oracle Management Server を使用して接続を行う場合は、「取消」ボタンをクリックしてウィザードを終了します。

## インストール後の構成

インストールが完了した後、Standard Management Pack を使用できる状態にするには、さらに構成タスクを行う必要があります。インストール後の構成の詳細は、『Oracle Standard Management Pack スタート・ガイド』を参照してください。



---

# Oracle Standard Management Pack の削除

## Oracle Universal Installer によるコンポーネントの削除

Oracle 製品を削除するには、次の手順を実行します。

1. 「スタート」メニューから Oracle Universal Installer を起動します。

Oracle Universal Installer の「ようこそ」画面が表示されます。

2. 「製品の削除」ボタンをクリックします。

「インベントリ」画面が表示されます。

---

**注意：** 製品を削除する前に、Enterprise Manager ツール、および Intelligent Agent、Data Gatherer、Oracle Management Server などの Oracle サービスを停止します。

---

3. 削除する製品を選択し、「削除」ボタンをクリックします。

選択した製品とそれに依存するコンポーネントを削除するかどうかを確認する別の画面が表示されます。

4. 「はい」ボタンをクリックします。

Oracle Universal Installer では、製品が削除されると問題が生じる可能性のある製品の依存コンポーネントについて警告し、削除してよいかどうかを確認するメッセージが表示されます。

---

**注意：** 「スタート」メニューから削除を行えるのは、Oracle Universal Installer のバージョン 1.6.0.9 以上を使用した場合のみです。

---

